

食と農のわくわく SDGs 学習推進事業

1. 令和5年度実績額 8,572 千円

※事業費の一部に基金を充当(823 千円)

2. 成果・効果

- ・モデル校 12 校のほか、R4 から継続した実践校 3 校の計 15 校が学習に取り組んだ。
- ・次年度以降の実施校の参考とするため、各校の学習成果を実践事例として取りまとめた。
- ・学習に活用するため、アグリパーク食品加工支援センターに微細粉の米粉製粉機を導入した。
- ・新潟コンピュータ専門学校と連携し、市の農業の魅力や現状等を紹介する教材用動画を 15 本制作、公開した。

| 数値的な指標 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|----------------------|----|----|----|----|
| 食と農のわくわく SDGs 学習実施校数 | — | — | 5 | 15 |

【現況・傾向など】

- ・R6 は本格実施として学習に取り組む意欲のある学校からの申請を受け付け、大学 2 校、専門学校 2 校、高校 3 校、中学校 3 校、小学校 8 校の計 18 校が実施校として学習に取り組んでいる。
- ・微細粉の米粉製粉機を活用し、調理実習や商品開発、販売を見込んでいる学校がある。
- ・授業で教材用動画を視聴し、学習の課題設定等に活用している学校がある。

3. 今後の方針

- ・市の食と農の魅力をより知ってもらうため、引き続き、専門学校と連携して教材用動画を制作する。また、学習に協力してくれる人材のリストを充実させる。
- ・講師謝礼や交通費等の経費を支援し、学習を充実させる。
- ・食と農のわくわくSDGs学習を市全体に広げていくため、実践事例を提示して新たな実施校を募集し、実施計画作成などのサポートを行いながら、幅広い年代の多様な実践事例を積み上げていく。